

業務用

## タケトップ P (屋上防水層保護化粧材)

非歩行用

タケトップ P は、アクリルゴム系のエマルジョンの塗装材で、耐候性、耐屈曲性及び密着性に優れ、露出防水材表面の保護化粧材として開発された商品です。

タケトップ P シリーズには、タケトップ P シルバー、タケトップ P カラー (グレイ・グリーン) の 2 つのタイプがあります。また、別に軽歩行用で滑りにくい仕上りのタケトップもあります。(タケトップのカタログを参照します)

用途： ウレタン、ゴムシート、アスファルト、アクリル系防水材化粧仕上げ用

荷姿： 15 kg/缶

種類： タケトップ P シルバー

アルミ粉を顔料として調整された保護防水層仕上げ用の保護塗装材です。



塗布量：1缶 (15 kg 入り) で約 60 m<sup>2</sup> = 1回塗り仕上げ

ただし、ウレタン防水・ゴムアスシートの場合

下地表面が粗雑な砂付キルーフィング等の場合の塗布量は約 40~50 m<sup>2</sup>

表面の滑らかなゴムシートでは、塗布量は約 120~150 m<sup>2</sup>

タケトップ P シルバーは、アルミ粉を使用しておりますので保管には、直射日光を避けて被覆するか、冷暗所に保存下さい。

タケトップ P シルバーの容器を倒ったり横や下向きにしないで下さい。

蓋の部分に空気穴が設けてありますので、液が漏れる恐れがあります。

塗装についての注意は、下記をご覧ください。

種類： タケトップ P カラー 色グレイ・グリーン

タケトップ P カラーは、長期耐候性の特殊顔料 (無公害顔料) を主体に配合調整した製品で、ゴムシート・アスファルト系防水層の保護塗装材です。簡便で塗装が容易です。

塗装間隔は、夏期 1 時間以上、冬期 3 時間以上でお願いします。



塗布量：1缶 (15 kg 入り) 約 30~40 m<sup>2</sup> = 2回塗り仕上げ

塗装作業 新しい防水層に塗装される時は、7 日以上経過後、防水層表面の油分、離型剤が消滅してから、塗装願います。

水性ですので、気温が 5℃ 以下又は、数時間以内に降雨が予想される場合は、塗装は中止して下さい。



竹林化学工業株式会社

大阪府東大阪市澁川町 3 丁目 1 番 4 3 号

# タケトップ P (屋上防水層保護化粧材)

非歩行用

業務用

物性：試料作成後、7日間気乾養生 試験塗布量 Pシルバー=0.25 kg/m<sup>2</sup>

Pカラー =0.4 kg/m<sup>2</sup>

試験項目/種類	Pシルバー規格値	Pカラー規格値	備 考
粘度 (20/20℃)	600±200	1300±400	CPS/BH型 20RPM
比重 (20℃)	1.05	1.25	
加熱残分 (%)	28	52	105℃×3時間
酸・アルカリ度	6.5	7.5	at 20℃ pH
耐水性	異常なし	異常なし	1時間・水に浸漬
耐アルカリ性		異常なし	pH・12=7日浸漬
耐酸性		異常なし	3%硫酸液 7日浸漬
耐紫外線	(燈管灯 15W/20cm=14日間・直射) 褪色、変色なし		
耐候性	(サンシャイン・ウエザオメーター×1000時間照射) 異常なし		

## 取扱い上のご注意

1. 使用前によく撹拌混合して下さい。
2. 気温5℃以下の施工は避けて下さい。  
屋外施工の場合、数時間以内に降雨が予想される場合は施工しないで下さい。
3. 塗装間隔は、夏期1時間以上、冬期3時間以上でお願いします。
4. 保管の際には、直射日光を避けて、0℃以上で保管して下さい。
5. タケトップPシルバーの容器は、横倒し・下向き等しないで下さい。 容器内の膨張を避ける為、口金に特殊加工がして有りますので注意して取り扱い下さい。  
又、40℃以上の高温での保管は、絶対にやめて下さい。

## 事故防止上の注意事項

1. 取扱いは換気の良い場所で行なって下さい。取扱う場所に応じて、局所排気を設けて下さい。
2. 目や皮膚への接触を防止する為、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用して下さい。

## 救急処置

1. 皮膚に付いた場合は、付着した部分を、水又は微温湯を流しながら洗浄して下さい。
2. 目に入った場合は、速やかに流水で15分以上流してから、眼科医の処置を受けて下さい。
3. 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当を受けて下さい。
4. 蒸気、ガスなどを吸収して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受けて下さい。

## 使用上の注意

1. 容器から出し入れする時は、こぼさないようにして下さい。
2. 液がこぼれた場合は、布等で、速やかに拭き取る等して、除去して下さい。
3. 液が大量にこぼれた場合は、砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収後、拭き取る等して、除去して下さい。
4. 取扱い後は、手洗い、うがいを充分に行なって下さい。
5. 本品の取扱い及び注意事項についての詳細は、安全データシート(MSDS)をお読み下さい。

## 廃棄

1. 使用済みの空缶、材料のついた手袋、ウエス等は、専門の廃棄処理業者に依託して処理して下さい。
2. 缶は、使い切ってから専門の廃棄処理業者に出して下さい。

## 保管

1. 一定の場所を定め、凍結、直射日光を避け庫内に保管して下さい。
2. 保管時の温度は5℃以下あるいは40℃を越えないように配慮して下さい。
3. 使用後は、皮張り防止の為、密封して貯蔵して下さい。